

別冊第十三 其二

同仁會九江診療防疫班接收開工  
中國軍備志錄

0553

第一集團軍總司令部代電

民國三十四年十一月四日  
人字第四五五號

南滿地區日本官公署總務課部長

望余幸雄將軍

陸軍

中華キリスト教衛理公會保養一九五九教會會家屋財產即チ

福徳婦幼医院 願閣陶瑠理一書翰ニ據ル

婦幼医院 (同仁會医院) 全部退去返還シ業務權

益ヲ維持セシメラシ度ト返電シアルニ該日本居留民ニ對シ

連カテ家屋ヲ見ツケ遷移シ該家屋ヲ移讓スル命也ラシ度

第一集團軍總司令

孫 渡

十一月四日 捌

陸

陸軍

第九戰區陸軍第九軍司令部備忘録

三十四年十一月十三日  
海軍部第二号

南洋軍監日本官兵事務總務部長

陸軍部 陸軍部 陸軍部

衛理公會會督黃正素ノ報告ニヨレバ

一 同仁醫院ハ原米米國教會婦孺醫院ノ財産ニシテ既ニ

米國衛理公會ニ返還シ管理スルノ請求セラルト

モ其適リ施行セムニ茲ニ交接辦法ヲ規定昆事ノ如シ

一 移讓期日 十一月十六日 正十二時

二 入院中ノ患者ハ轉院或ハ衛理公會ニ接收診療セムニシ

三 院內ノ器械藥品用具ハ備忘録後續ノ時ヨリ搬出スルコ

ト得ル又本部及連絡部ヨリ各事務係ニ軍醫一ヲ派遣シ

相立時監視セム

原米院內ニ在リタル材料用具ハ衛理公會ニ返還整理セ

シト餘ノ材料用具藥品ハ個人ヲ除ク外ハ一律ニ本部

0555

三拾五枚収じ 原書ニ返入

右三項並力に回答せし度

第九戦区陸軍第九十九師

陸軍中将

梁隆明

(約谷真・京原)

0556

陸軍

南滿鐵

九江同仁醫院 移讓ニ関スル件 回答

昭和三年十一月十五日

南滿鐵地区 日本官兵善後連絡部長

笠原 幸雄

第九戦区陸軍第九十九軍長

陸軍中將 梁 謹明 將軍閣下

貴軍司令部備忘録(民國三十四年十一月三日附海字第三號)

ニ據ル 九江同仁醫院ハ既ニ才一軍團軍ニ依リ接收セラル

モノナリ 尚才一軍團軍軍医總監長ヲ因仁醫院院長

トシテ據ル 八同醫院(職名 孫打 葉名 等皆悉)ハ梁來 江西

省省政府ニ移管セラル 省立醫院トシテ業来 鄂ノ籍行セラル

ハク計畫セラル 省政 衛生 撥正 李金華 此ハ同件

ニ関シ 近々南滿鐵ヨリ指令ヲ持チ來ルモノナリト

0557

依テ北江國仁醫院ノ移入ノ第一集國庫及江西省有  
五衛生盤ト接添ノ上ニ實施セラレ度

(約谷具・東京)

0558

陸軍

中華民國第九戰區陸軍第九十二軍司令部備忘錄  
中華民國三十四年十一月十九日  
海軍部第一四〇一四號

南滿地區日本官兵營務總連絡部長 笠原 五平 輔特軍

貴部本月十五日南滿連絡第三二號報告了承也

同仁醫院事務第三團之現在軍政部第二組三月十日

午後三時三十分收

依前函在道邊弁不也

中華民國第九戰區陸軍第九軍軍長 陸軍中將 梁漢明

(鈔本送・原封)

0559

陸軍

中華民國第九秋巴陸軍第九軍司令部備忘錄  
第九軍司令部第九〇號  
南滿地巴日本官長善及運送部長  
菅原幸輔將軍

同仁醫院接收組二十五日所報告ヨリハ

一 本組、即、立會、上、點、核、ヲ、定、ム、シ、院、内、患、者、ハ、米、則、ニ、移、ス、セ、リ、但、シ、福、德、院、ハ、移、取、リ

思、フ、ニ、危、険、者、ハ、依、然、原、同、仁、病、院、日、本、主、任、医、師、及、看、護、人、(高、田、之、院、長、等、五、人)ヲ、シ、テ、引、續、キ、診、療、シ、ス、ル、事、ト

セ、シ、テ、米、則、ノ、不、必、要、ニ、ナ、リ、見、解、期、ニ、離、院、セ、シ、ム、ト、依、而、移、命、ノ、上、道、遵、守、セ、シ、ム、ベ、シ

(前、略、冊、ニ、部、ヲ、附、ス)

第九軍司令部陸軍第九軍司令部  
陸軍中將 菅原幸輔

(終、符、號、・、原、原)

0560



簡歴表

姓	名	性別	年齢	籍	職業	現住地	留用原因
高	日之	男	四二	日本熊本県球磨郡上村三三	醫師	九州熊本 南勝町	高年者 診察
南	泰綱	男	四三	日本熊本県下村三九六	令	令	令
着藤	康正	男	四三	日本熊本県大津郡藤原町一三三	令	令	令
藤本	光子	女	三三	日本熊本県天草郡大津町一六八	令	令	令
上野	十四子	女	三一	日本熊本県西合志町上生八九四	令	令	令

(44号機・原)

陸軍

0561